

令和5年度「ふじえだ元気大賞」受賞者

受賞者（3個人、3団体）※うち特別賞1団体

	個人・団体名（分野）	活動内容
1	須藤大輔 (藤枝MYFC監督) (スポーツ)	初参戦となったJ2リーグにおいて、確かな手腕の下、チームをけん引し、超攻撃的なエンターテインメントサッカーでファンを魅了するとともに、観るものに夢と希望を与えた。また、全国にサッカーのまち藤枝をアピールするとともに、市民のサッカー意識の向上に貢献した。
2	マスダ カルシ (文化芸術)	新聞切り絵作家として、新聞のカラー写真部分を切り抜くという斬新な方法で作品を生み出し、平成30年からは絵本作家としても活躍している。また、郷土博物館のクリアファイルデザインや、民間事業者のパッケージデザインを手掛けるなど、多くの人の目を楽しませている。
3	杵塚 民子 (産業振興、地域活性化)	環境に配慮した有機茶を生産するとともに、令和5年3月に設立した「藤枝市オーガニックシティ推進協議会」では会長を務め、小・中学校などへの有機茶の提供や食育に関する活動に積極的に取り組み、藤枝ローカルSDGs及びオーガニックビレッジ宣言の推進に寄与している。また、本市の推進する施策に関する審査員を務めるなど、まちの発展にも大きく貢献している。
4	藤枝市立青島中学校 吹奏楽部 (教育文化)	第64回静岡県吹奏楽コンクールで、本市代表として、45年ぶりの快挙となる金賞及び中学校文化連盟賞を受賞。東海大会でも銀賞を獲得し、藤枝の名を県外に発信するとともに、音楽文化の振興に寄与した。
5	アルフレッサ株式会社 (保健衛生)	災害時に薬剤を処方するための「災害支援コンテナファーマシー」の派遣を含めた協定を令和5年12月に締結。被災生活時の慢性疾患薬の迅速な処方が可能となり、市民の安全・安心の確保に寄与している。
6	【特別賞】 藤枝順心高等学校サッカー部 (スポーツ)	第32回全日本高等学校女子サッカー選手権大会で、前人未達の2年連続7度目の優勝を果たした。ひたむきにプレーする姿は、多くの市民に元気と勇気を与え、全国にサッカーのまち藤枝の名を轟かせた。